

峡南地域の農業を支える 揚水機場と排水機場



西嶋揚水機場



大塚揚水機場



西嶋排水機場



上野排水機場



下大鳥居排水機場



峡南地域

ます。保守点検等の管理が必要であり、受益農家で組織した水利組合や土地改良区が受益者から負担金を徴収して管理運営を行っています。

揚水機場を安定的に稼働させるためには、

より高い場所にある農地にポンプで水を揚げる施設のことをいいます。

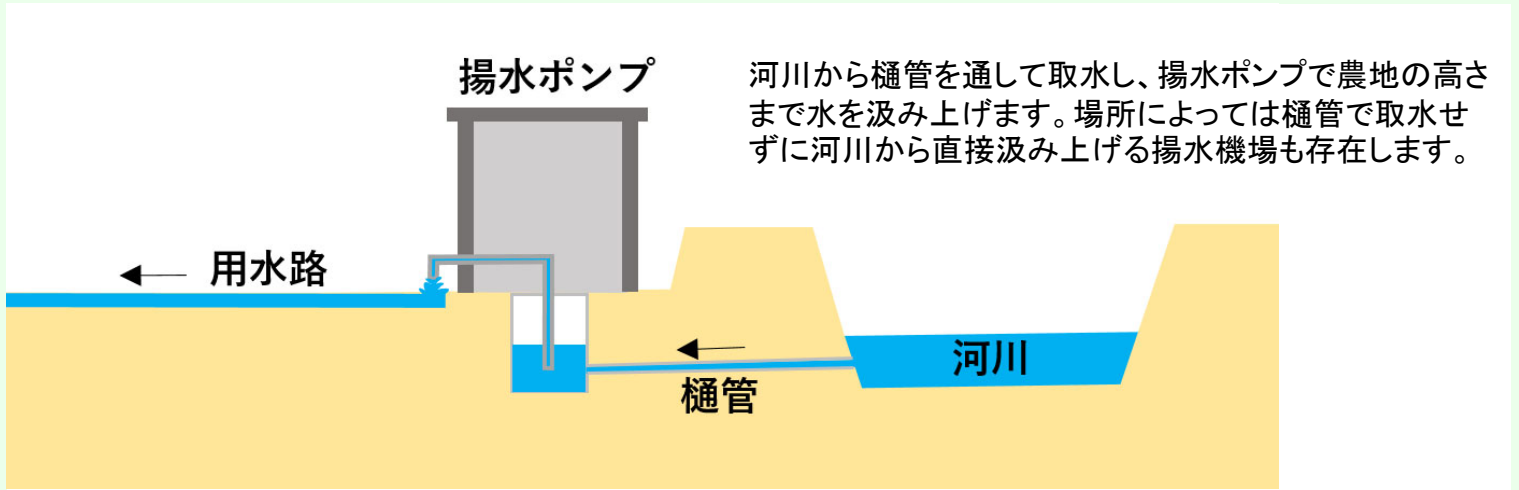
揚水機場の役割について

峡南地域には10箇所の揚水機場が整備されています。揚水機場とは、河川（水路）より高い場所にある農地にポンプで水を揚げる施設のことをいいます。

峡南地域の特徴について

峡南地域は西八代郡、南巨摩郡の5町からなる地域であり、果樹王国山梨の中でも特色ある農業が営まれています。水稲、スイートコーン、大塚ニンジン、あけぼの大豆、西洋梨、茂倉うり、お茶などがその一例です。これらの農業を行う上で水は欠かせない存在であります。その水を農地に揚げる「揚水機場」と、逆に排水する「排水機場」の存在が峡南地域では欠かせません。その二つの機場の役割について説明していきます。

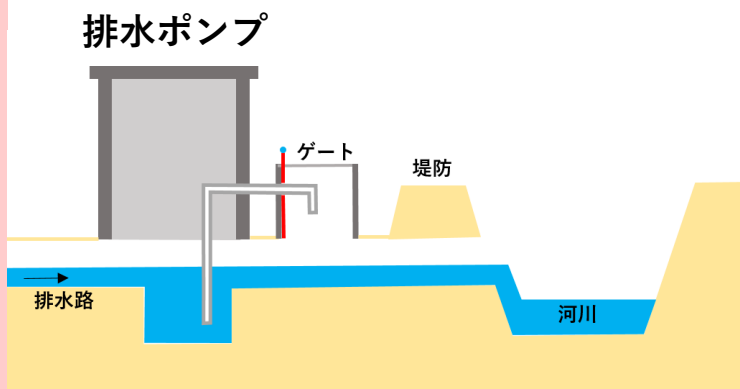
揚水機場のしくみ



排水機場のしくみ

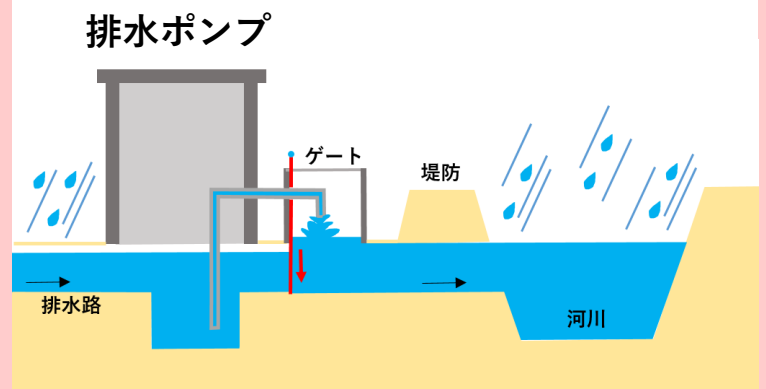
< 平常時 >

普段は、排水路の水は河川に流れています。



< 洪水時 >

河川の水が排水路に逆流するのを防ぐためにゲートを閉めます。このままでは排水路の水位が上がってしまい農地が浸水してしまうので、排水ポンプで河川へ水を吐き出し、湛水被害を防ぎます。



排水機場の役割について

峡南地域には13箇所の排水機場が整備されています。排水機場とは、大雨などによる農地への水害を未然に防止するために排水ポンプを稼働して、雨水や生活排水などを河川に強制的に排水するための施設です。

農地およびその上流地域で降った雨は、生活排水と一緒に側溝・排水路等に流入し、最後は河川に流れ込みます。しかし、大雨などで河川の水位が上昇すると、自然排水できなくなり、逆流を防ぐために水門を閉め、排水機場です。逆流を防ぐために水門を閉め、大型のポンプにより強制的に河川へ吐き出すことで農地の湛水被害の軽減を図っています。

峡南地域は大河川である富士川（笛吹川）の水位上昇により、排水路を通して自然排水できなくなる地域が多数存在しますので排水機場が担う役割が非常に重要となっています。

防災上重要な施設である排水機場ですが、多くの施設は昭和の時代に整備されたものであり、老朽化により機能低下を起している施設も多く存在しています。近年、山梨県では災害を未然に防止するために老朽化した排水機場の更新整備を実施しています。排水機場は滅多に稼働することがない施設ですが、いざという時に働いて災害から農地を守ってくれる重要な施設です。

峡南地域の美しい景観を維持していくために

揚水機場・排水機場ともに目立たない存在ではあるものの、峡南地域の美しい農地が維持できているのも、これらの施設があることに他なりません。今後も地域農業の発展に貢献する施設として関係者が適切に維持管理していく必要があります。